

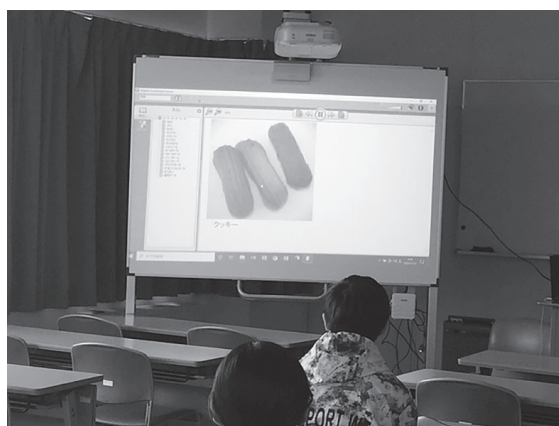
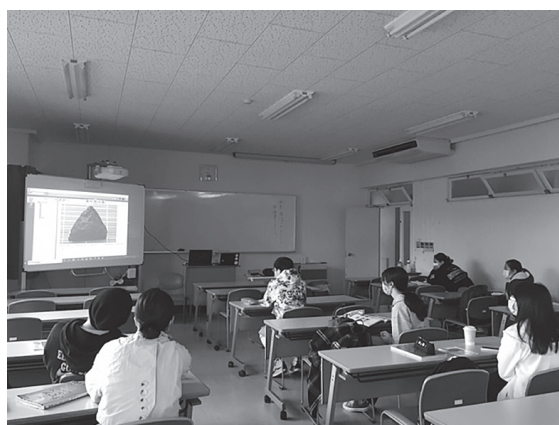
留学生たちの「オノマトペ」実感の切り札として

長崎短期大学 非常勤講師
山本 みづほ

はじめに

本学には国際コミュニケーション学科を中心として、現在55名の留学生がいます。中国、韓国、台湾、ベトナム、ミャンマー、アメリカ、フィリピン、スリランカ、ネパールと出身国はさまざま、それぞれがより高いレベルの日本語習得のために努力しています。留学生にとって日本語の多種多様な「オノマトペ」は、どの場面でもどう使うのかを知ることがむずかしく、理解に苦労するものです。

昨年度、開館したての県立長崎図書館と大村市立図書館合築の「ミライon図書館」で開催された伊藤忠記念財団主催の読書バリアフリー研究会に参加し、休憩時間に流された映像で『おにぎり おむすび』を見て、「これだ!」と思い、財団に即申し込みをしました。送っていただいたブルー版の中から、オノマトペを使った『おにぎり おむすび』『ことこと ことこと』『パパンがパン』を使って授業を行ってみました。



授業風景

目的

特に、翌年4月の本学及び姉妹校の長崎国際大学入学を前に、「入学前教育」として後期に入国する学生の日常会話の習得のために、本教材での授業を設定しました。本学には高校卒業し

たての17歳から、学び直しの30代まで
さまざまな年代の留学生たちがいます。
現在自分が持っている日本語能力検定
試験（J L P T）の級の、より上位を
目指すべく勉学に励んでいます。
ちょっとした息抜きも兼ねて、本教材
を活用するアイデアはなかなか好評で
した。

ことばをリズムにのせた『おにぎり
おむすび』は、途中から一緒に歌い
出す留学生もいて、教室の雰囲気が和
らぎました。おにぎりが二つに割れる
ときの「ぱかーん」というオノマトペ
は、何かが開くときに表現することば
なのだということが実感できました。
おでんを煮る鍋の「ことことことこと」
や、パンの種類を紹介するときの「パ
パンがパン」のかけ声など、音と映像
とそして日本の食べ物を楽しく知るの
に格好の教材です。

今後の活動

今年度は、新型コロナ感染拡大の影
響で留学生がいつ入国できるのかわか
らず、「入学前教育」の実施ができま
せんでした。

この状況が早く落ち着き、従来の日
程で「入学前教育」ができるように
なることを願っています。その際に本教
材を活用して、楽しく日本語の学習に
取り組ませたいと思います。

おわりに

長く公立中学校の国語科教員として
勤務していた私が「マルチメディア
DAISY図書」を知ったのは、早期退職
の数年前でした。特別支援学級の国語
も1時間担当していたのですが、とに
かく目の回るような忙しさの中で、本
教材を手に入れる余裕はありませんで
した。司書教諭でもあったので、学校
図書館に入れたかったのですが、残念
ながら叶いませんでした。

いま、時間にゆとりのある暮らしの
中で、日本語を学ぶ留学生との日々は
楽しく、少しでも彼らの学びの手助け
になることは即実行できます。そんな
環境にあることのありがたさを実感し
つつ、日々を過ごしています。

日本には数多くの外国人が、日本語
の習得に苦労しながら生活をしていま
す。そんなみなさんが、楽しんで日本
語に触れることのできるマルチメディ
アDAISY図書とその活用が増える
ことを願っています。

